

「地域密着型金融推進計画」の進捗状況

■特色ある取組みの状況

当行は、「地域貢献No.1銀行」、「お客様満足度No.1銀行」を目指して、「地域密着型金融推進計画」に掲げた各種施策を積極的に取組んでいます。

この間、平成18年5月に福岡銀行と将来の経営統合を視野に入れた「業務・資本提携に関する基本合意書」を締結し、両行の協業体制により、営業ネットワーク拡大による顧客サービスの向上や、お取引先の事業再生支援の強化、県域を越えたビジネスマッチング情報の提供など、地域経済への貢献と総合的な金融サービスの提供に取組んでいます。

■主な取組み成果

- ①平成19年4月の福岡銀行との経営統合に向けて、相当のスピード感と深度をもって準備を進めています。具体的には、平成18年6月のATM手数料の相互無料化の実施、「地域貢献ファンド」への参加や、事業再生支援部署の充実強化によるお取引先の本業支援や事業再生支援に取組みました。
- ②担保や保証に過度に依存しない融資を推進する中で、平成18年6月に「動産・債権の担保制度」を活用した融資に取組みました。また、平成18年9月に中小企業金融公庫と提携した「第3回熊本ファミリーCLO」に取組みました。
- ③中小企業が有する技術等の専門的な知識を補うため、平成18年9月には、県内で唯一農学部を有する九州東海大学と業務協力協定を締結（現在迄に3大学と締結）し、目利き機能を強化しました。
- ④平成17年12月から開始したポイントサービスは、平成18年9月末で約82,000人のお客さまにお申込みをいただきました。
- ⑤「お客さまアンケート」・「ご意見箱」等のお客さまの声を活かして、ATMコーナー（上通出張所）の新設や、充実した窓口店頭サービスの提供をするために、預かり資産専用窓口の全店設置に向け投信販売のモデル活動を行いました。
- ⑥環境問題への取組みとして、平成17年9月にISO14001の認証を取得し、平成18年8月の定期審査では環境マネジメントシステムが維持管理されていると判定されました。また9月には、当行役職員850名が参加した清掃活動を行うなど、積極的な環境保全活動を行いました。

■目標とする計数目標・経営指標の実績（18年9月末）

項 目	平成18年3月期実績	平成18年9月期実績	平成19年3月期目標計数 (注1)
コア業務純益	138億円	57億円	148億円
自己資本比率(単体)	9.33%	8.2%	8.8%以上
ランクアップ比率 ※債務者区分の上昇先／経営改善支援取組み先	14.4%	18.0%	25.0%
エコ関連預金商品期末残高 ※本業を通じた環境問題への取組みの一環として	334億円	623億円 ^(注2)	400億円
エコ関連融資商品期末残高 ※本業を通じた環境問題への取組みの一環として	115億円	183億円	100億円
中小企業等向け貸出比率 ※当行の貸出残高に占める中小企業等向け貸出残高比率	93.5%	90.2%	95.0%

(注1) 平成19年3月期目標計数は、平成17年8月に策定した時点の「地域密着型金融推進計画」の計数を掲載しています。

(注2) エコ関連預金商品期末残高には、夏の涼風くすすかせ定期預金の残高(平成18年9月末残高149億円)を含みます。(取扱期間:平成18年6月15日～平成18年8月18日)